

### 使用水量別料金試算

現行		試算1					試算2					試算3					試算4							
料金区分		料金区分(中間層)を細分化					基本使用料区分を10m³まで拡大					基本使用料の比率を高める					全区分一律の改定率							
料金区分	単価	料金区分	単価	改定率	引上額	引上率	料金区分	単価	改定率	引上額	引上率	料金区分	単価	改定率	引上額	引上率	料金区分	単価	改定率	引上額	引上率			
基本使用料 ~8	776	基本使用料 ~8	916	18.0	140	18.0	基本使用料 ~10	988	27.3	72	27.3	基本使用料 ~8	931	20.0	155	20.0	基本使用料 ~8	916	18.0	140	18.0			
従量 使用料 (1m³ につき)	9~10 106 11~15 115 16~20 125 21~25 139 26~30 163 31~40 199 41~50 214 51~75 267 76~100 325 101~300 267 301~1,000 267 1,001~ 325	従量 使用料 (1m³ につき)	9~10 125 11~15 136 16~20 146 21~25 151 26~30 163 31~40 168 41~50 190 51~75 197 76~100 253 101~300 315 301~1,000 384 1,001~ 384				従量 使用料 (1m³ につき)	11~15 138 16~20 150 21~25 162 26~30 167 31~40 167 41~50 196 51~75 196 76~100 257 101~300 320 301~1,000 390 1,001~ 390					従量 使用料 (1m³ につき)	9~10 127 11~15 138 16~20 149 21~25 164 31~40 164 41~50 189 51~75 189 76~100 246 101~300 302 301~1,000 364 1,001~ 364				従量 使用料 (1m³ につき)	9~10 125 11~15 136 16~20 148 21~25 164 31~40 164 41~50 192 51~75 192 76~100 253 101~300 315 301~1,000 384 1,001~ 384					
公衆浴場 その他	5	公衆浴場 その他	5	0.0	-	0.0	公衆浴場 その他	5	0.0	-	0.0	公衆浴場 その他	5	0.0	-	0.0	公衆浴場 その他	5	0.0	-	0.0			
区分数 (浴場除く)	9	区分数 (浴場除く)	12				区分数 (浴場除く)	9				区分数 (浴場除く)	9				区分数 (浴場除く)	9						
見込み 1m³単価		見込み 1m³単価	150.05				見込み 1m³単価	150.43				見込み 1m³単価	150.35				見込み 1m³単価	150.04						
		・細分化した区分のうち、水量の少ない区分の改定率は抑えられるが、水量の多い区分については負担が重くなる。					・8m³までの使用者の引上率が約27%と高くなる。 ・10m³使用者の負担は変わらない。 ・11~30m³の改定率を高くする必要があるが、全体の約40%を占める9~20m³使用者の引上率は0~16%と他の区分より低く抑えられる。 ・30m³以上の使用者は、引上率が約20%と高くなる。					・20m³までの区分は約20%の改定が必要となり、引上率も約20%となる。 ・1,000m³以上の区分の改定率は約12%に抑えられ、引上率も低くなる。					・全区分一律で約18%の改定となり、引上率も約18%となる。							

- ※1 令和2年度の使用水量を基に、下水道使用料の**最低限の目安1m³/月あたり150円**となるように試算
- ※2 引上額及び引上率は、各区分の最大水量で計算(税抜き)
- ※3 1,000m³~の区分は、2,000m³使った際の使用料を比較し、引上額及び引上率を計算